



THE ROTARY CLUB OF MIYOSHI CHUO

三次中央会報 ロータリークラブ

事務所 / 広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mcrc.server-shared.com
例会場 / 広島県三次市十日市南 1-10-1
三次グランドホテル
例会日 / 月曜日 12:30~13:30

2023-2024 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

- 本日のプログラム 親睦委員会担当
「見て見て〜うちの子」我が家のペット自慢
- 次回例会日時 2023年11月6日(月) 12:30~
- 次回プログラム 国際奉仕委員会担当 ゲスト講演
地区ロータリー財団委員会 明山晃映様

会長 / 上田 秀樹
幹事 / 栗本 清秀

●2023~24年度 国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう

■第1402回例会記録

- 日時.....2023年10月23日(月)12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「我らの生業」.....全員

●2023~2024年度 三次中央RCスローガン
平和を実感し、
ロータリーをもっと楽しもう

■開会挨拶.....上田会長

江戸しぐさ 気働き

皆さんこんにちは。

土曜日、日曜日と孫たちの野球の練習試合を観戦して、スポーツの秋を満喫。英気を養いました。元広島カープの、浅井一樹監督率いる中学生女子野球オール広島の試合が吉舎の敷地グランドで行われていたので昼まで見て、その足で三次警察署管内少年野球大会を観戦しました。栗屋スポーツ少年団は惜しくも3位でしたが、孫はセンターオーバーの3塁打、ランニングホームランと大活躍でした。

江戸しぐさパート4「気働き」

見てわかることは言わない。読んでわかることは聞かない。ということです。また、指図されなくても動く。撃てば響く。空気が読める。ということです。

千利休の気働きにまつわる話があります。利休が奈良の寺を訪れた際の若い僧侶との出来事です。利休が喉が渇いていたため「お茶を一服ください」と若い僧侶にお願いしたところ、利休が喉が渇いている様子を読み取った僧侶は、一気に飲

み干せるように普通の量よりも多く、そして「ぬるめ」のお茶を立てたものを提供しました。利休がおかわりを頼むと、今度はゆっくりお茶を味わえるように、熱い湯で逆に量は少なめに濃いお茶を立てて提供しました。利休はえらく感心して、その僧侶を連れ帰り、茶人にしたというエピソードがあります。



このように「お茶をください」と言われてただ茶を提供するのではなく、相手の状況を見て、相手のことを思い、相手に合わせたサービスの提供こそがこれからの時代ますます求められると思います。

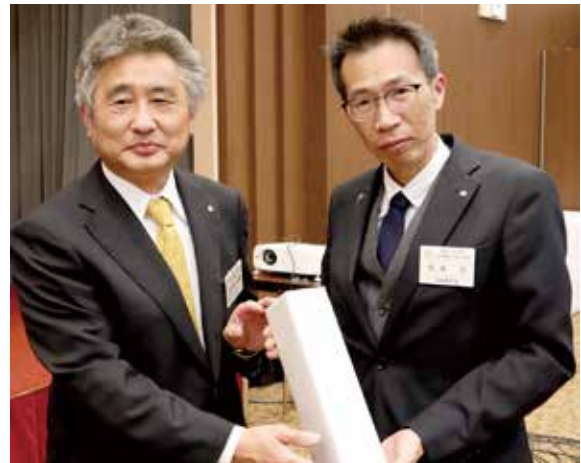
本日の例会は職業委員会担当です。前田委員長の職業奉仕卓話です。よろしくお願いします。

■幹事報告.....栗本幹事

- 美祢地域大雨災害支援金のお礼が届いています。
- ソロプチミスト三次の40周年記念誌が届いています。
- 本日は節約例会です。
- 10月30日は夜間例会です。各自一本アルコールが出ます。
- 本日19時より親睦委員会のインフォーマルミーティングを行います。
- お手元に安藤会員のふれあい通信をお配りしております。

■SAA.....池田SAA

- 会員誕生日…阿部君



■出席報告.....山縣委員長

- 第1400回10月2日

会員数	36名	Make-up	0名
欠席	5名	出席合計	31名
欠席者のうち規定免除	1名	出席率	88.57%

- 第1402回 本日の出席は36名中31名です。

- 会員ニコニコBOXへご出宝

阿部君 本日、47歳になりました。(大)
 上田君 前田委員長、本日は卓話、よろしくお願ひします。
 前田君 卓話します。職業奉仕と骨髓バンク、よろしくお願ひします。
 「前田委員長、卓話よろしくお願ひします。」
 山縣君、平田君、角谷君、野村君、
 重信君、沖君、池田君

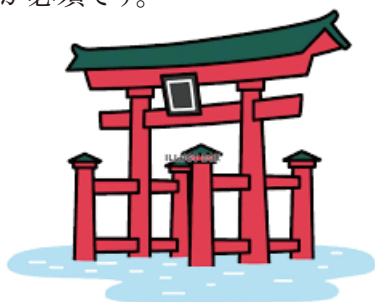
ニコニコBOX本日出宝額 12,000円

コロナ禍以降の観光客動向

山縣 隆

コロナ禍により動きが止まっていた観光団体も5類の扱いになって以降、ようやく動き出しました。5月の開催されたG7広島サミットの効果もあり、遠方からのツアーが増えています。

最近では札幌、沖縄、東京、名古屋、福岡からのツアーが連日で入込。中国地方の中心に位置する三次では、厳島神社、原爆ドームや出雲大社、足立美術館など陰陽の観光施設との連携が必須です。



職業奉仕について 骨髄バンクについて

職業奉仕委員長
前田 剛志



職業奉仕委員長の前田です。本日のテーマは二つです。

- ①職業奉仕について理解を深める。
- ②骨髄バンク啓発活動について知る。

この二つについてパワーポイントに沿って進めます。

【職業奉仕について理解を深める】

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
5. ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する。

ロータリーと他の奉仕団体との違いは、職業奉仕という理念があるということが大きな違いと言えます。

また、「ロータリーの目的」を読むと、職業上の高い倫理基準を持つことが大事だと書かれています。「倫理」という、抽象的なものではわかりにくいので、それぞれの職業に引きつけて、自分は何ができるか考えたらいいと思います。私の弁護士という仕事に引きつけて考えて見ました。

【倫理と法】

- ▶法は倫理の最低基準
- ▶→違反すると契約無効、損害賠償、罰則による制裁(業法上の資格はく奪、業務停止)
- ▶法の要求しない倫理、高潔さ
- ▶コンプライアンス(法令順守)に心がけることは当然であり倫理の問題ではない。
- ▶但し、法律による要求は複雑であり、まず勉強が欠かせない。

四つのテスト

①真実かどうか

真実とは

- ▶自然科学的真実
- ▶可能な限り真相に近い事実
- ▶訴訟的真実
- ▶真実に反した場合は?
- ▶→偽証罪、偽証教唆
- ▶→証拠隠滅罪、証拠偽造罪
- ▶→犯人隠避罪
- ▶→詐欺罪
- ▶実務的な問題
- ▶一つの前提が誤っていると、その上に重ねた行為も誤りになる。→事業の支障、損害拡大
- ▶信頼関係を根本的に損なうリスク

真実かどうかの前に

- ▶事実なのか、
- ▶評価なのか。
- ▶その事実は具体的にになっているか。

②みんなに公平か

公平とは

- ▶かたよらず、えこひいきのないこと。
- ▶例) 公平に分配する。公平委員会、公平無私(広辞苑第7版(岩波書店)から引用)

公平、公正、平等

- ▶公正：公正で邪曲のないこと。明白で正しいこと。例) 公正を期する、取引を公正にする。
- ▶平等：かたよりや差別がなく、全てのものが一様で等しいこと。例) 平等に扱う、男女平等 広辞苑引用(前同)

- ▶形式的平等、実質的平等
- ▶(取引、業務等) 関係者にとって公平か。
- ▶→一つの考え方：立場の互換性 自分が相手の立場にたったかどうかを考える。

③好意と友情を深めるか

- ▶取引のきっかけ
- ▶取引継続の動機
- ▶信頼関係の深化、発展

好意と友情は必要か 内部

- ▶意思疎通、業務の円滑化
- ▶チーム力の発揮
- ▶ハラスメント防止
- ▶職場環境の向上

立場の互換性

- ▶→相手の立場に立って考える
- ▶→共感→みんなのためになるか
- ▶→孤立(ミス、虚偽、ハラスメント等の温床)を防ぐ

④みんなのためになるかどうか。

- ▶みんな=全ての関係者
- ▶対比で考える。
- ▶「自分のためになるかどうか」
→「自分だけのためになるかどうか」
- ▶→ある種自己犠牲的な倫理？

最もよく奉仕する者には、最も多く報われる。

「食うか食われるかを原則とする無慈悲な競争を排除するものであり、それに代わって建設的で創造的な競争を導入するものです。」

四つのテストを見るときに、ロータリアンの行動規範と照らし合わせてみると、趣旨がわかりやすいかと思えます。

【骨髓バンク啓発活動について知る】

クラブとして骨髓バンク啓発活動を始めたのは、会員の方が白血病になられて、退会されたことがきっかけでした。

我々にできることをしようとした時に、骨髓バンクへの登録年齢は、18歳以上、54歳以下。なかなか

簡単ではない、というところから、まずは啓発活動をやっていこうということになりました。

骨髓バンク啓発活動

- ▶骨髓バンク講演会
- ▶きんさい祭りブース設置
- ▶バンク登録会広報活動(主にピオネット、中国新聞)

骨髓移植は造血機能が働かなくなる病気に罹患した人にとっては、それしか回復の方法はないという、とても重要なことです。

①バンク登録

献血時、献血ルーム

②HLA型適合連絡(コーディネーターから連絡、調整)

③事前説明、最終同意

④健康診断、事前準備、骨髓提供

登録から移植までは以上のような流れですが、登録自体は献血の時にできます。そして、HLA型が適合したら通知が来ます。受けていただけますかと改めて確認されます。2018年で、26,000人が適合、そのうち提供をしたのは5,000人くらいです。適合の連絡が来たからといって、絶対に受けなければならないというわけではありません。

健康診断、事前説明を受けます。危険についても詳しく説明されます。死亡例は日本ではありません。

骨髓提供の社会的リスク

仕事に与える影響はどうかというと、提供者が仕事を休むのは、8日前後です。健康診断で3~4日、入院が3泊4日です。前日から入院して、翌日提供して、もう一日休んで様子を見る、という流れです。

三次市には骨髓ドナー助成事業というのがありません。助成制度については詳しく確認しないといけません。従業員の皆様にもご案内頂ければ幸いです。